

令和5年度 天童市立高掬小学校の教育構想

〔学校教育目標〕

自ら学び、ともに伸びる
一夢に向かう くらしづくり

- 日本国憲法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 第6次山形県教育振興計画（後期計画）
- 天童市学校教育の目標
「未来を描き、問いを立て、解決・創造する力を育む学校教育」

- 学校の実態・状況
 - ・児童数の増加
 - ・150年に及ぶ歴史と伝統
- 保護者の願い
 - ・子供が安心して生活できる学校
 - ・子供の力を伸ばす学校
- 地域住民の願い
 - ・子供が地域に元気をもたらす学校

〔めざす子供像〕

自立
自ら考え、表現し合う子供
 「なりたい自分」をめざし、よく考え表現しながら学び、伸びる子供

共生
自ら開き、わかり合う子供
 心を開き、互いを理解・尊重しながら学び、伸びる子供



創造
自ら挑み、高め合う子供
 挑戦を続け、自他の成長を実感しながら学び、伸びる子供



〔めざす学校像〕 教職員にとっても 子供たちにとっても 力のつく 温かく 楽しい「ましみず」の学校

〔児童会目標〕 **レインボー ～ たいよう 協力 チャレンジ ～**

●重点の柱Ⅰ 「ともに高まる職場づくり」

■ 職員がやる気とやりがいを持ちながら、笑顔で生活できる職場づくりに努めます。

- ◎学校規模にふさわしい校務組織を整備するとともに、職員の得手を生かし不得手を補い合う校務運営を進めます。
- 「スリム化」と「スマート化」の視点で校務を点検し、必要な修正・改善を迅速かつ積極的に進めます。
- 職員の過重な負担や業務の偏り等を排除し、心身ともに健康で笑顔で生活できる職場環境をつくります。

■ 職員が協働して教育実践にあたり、互いに学びながら担任力向上を図ります。

- ◎学習指導力、生徒指導力、特別支援教育力がバランスよく伸長する職員研修を計画的に進め、実践的指導力の向上に努めます。
- ◎校内研究を基盤として、学校課題の解決と授業力の向上につながる研修を組織的・計画的に進めるとともに、自己課題を常に意識し研鑽に努めます。
- 職員が、互いの持ち味と得手・不得手を理解し、補い支える関係性を日常生活で醸成し実践を創ります。
- 保護者・地域住民と思いを重ね、子供のよさや伸びに気づき、勇気づけ、成長を期待し見守ることのできる職員となるよう努めます。

●重点の柱Ⅱ 「教育実践の充実・深化」

〔校内研究〕 研究主題：「自ら考え判断し行動できる子供の育成～対話から生まれる心理的安全性の高い学校づくり」

■ 子供一人一人の小学校6年間の育ちと中学進学後の生活を見通し、めざす資質・能力と各教育実践がつながる教育課程を編制します。

- ◎カリキュラムマネジメントを機能させ、児童の実態とめざす資質・能力から適切な指導実践を構想し、意図的・計画的・組織的に推進します。
- 子供の発達段階と成長実態を踏まえ、6年間の教育活動と学年間のつながり、学級間の関連を大切に指導します。
- 学校課題を明確にし、教育活動の重点化と改善を進めます。

■ 子供一人一人の実態を見つめ、深い子供理解のもとに、めざす資質・能力が確実に育つ授業づくりと生活指導に努めます。

- ◎各教科・領域等でつけたい資質・能力と、見方・考え方を働かせ深く思考し表現する授業づくりを進めます。
- ◎全ての教育活動で、自他の成長を見つめ振り返り、次なる自分の姿とその実現に向けた取り組みを想起する機会を大事に指導にあたります。
- ◎生徒指導の3機能（自己決定、自己存在感、共感的理解）を常に意識して子供と向き合い、子供の社会的自立に迫る指導実践を探ります。
- 子供同士が心を通わせ、考えを交流させて学びを深める活動を大切にします。
- 全職員が、常に子供に信頼され、目標とされる大人としてのあり方を探り、子供一人一人の成長を支えます。
- 子供に信用され、目標とされる大人としてのあり方を探りながら、全職員で子供一人一人を支えます。

■ 「いのち」を学び、「いのち」を守る学習、「地域」を学び、「地域」を愛する学習を大事にします。

- ◎生命の大切さや地域のよさを実感できる体験的な学習や、「いのち」「地域」を深く考える道徳や生活・総合の授業づくりを進めます。
- ◎いじめや不登校、交通事故などの未然防止に努めるとともに、課題の早期発見や対応を丁寧に進めます。
- 自然災害等の危機到来を現実起こりうることとし、実際の指導に取り組めます。